

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
剰余金の配当 期末3月31日  
中間9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
(〒541-8502)  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場  
(証券コード4611)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

## 「統合報告書2022」を発刊



「統合報告書2022」を発刊いたしました。統合報告書は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に対して、当社の中長期的な企業価値向上に繋がる取り組みをご理解いただくことを目的に2019年より毎年発刊しています。今号は前号と比べて、ESG関連情報や改訂コーポレートガバナンス・コードを意識した情報を充実させ、更に見やすさの向上にも努めております。ぜひ一度ご覧ください。



◀「統合報告書2022」は、当社ウェブサイトからご覧いただけます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# 第140期中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長 里 隆幸

代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

**Q** 2022年度上半期の業績をお聞かせください。

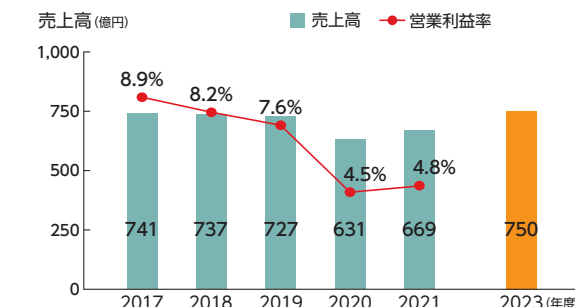
**A** 当上半期の当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫と経済活動の両立が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化がもたらす世界的なサプライチェーンの混乱や原材料価格の上昇、更には急激な円安進行により景気の下振れリスクが高まるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループの上半期の連結業績は、各セグメントにおける価格転嫁の進展により、売上高348億5千5百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。利益面では、価格転嫁の進展と照明機器事業の好調な推移により、営業利益は17億7千3百万円(同1.6%増)、経常利益は20億3千1百万円(同15.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億2千3百万円(同43.7%増)となりました。

なお、2022年5月10日に公表いたしました2023年3月期連結業績予想につきまして、固定資産の譲渡及び最近の動向等を踏まえ、売上高720億円、営業利益38億円、経常利益42億円、親会社株主に帰属する当期純利益33億円に修正しています。

**経営理念**  
 当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

● 創立100周年に向けた今中期経営計画の基本方針



**中計目標**  
 2023年度  
 連結売上高 750億円  
 連結営業利益 66億円  
 連結営業利益率 8.8%

創立100周年に向けて  
**持続的成長力**を持つ企業を目指す

成長基盤を活用した“変革の断行”

- 提供価値の強化
- 価格競争力の強化
- 販売体制の強化
- 労働生産性の向上
- 海外事業の強化



**Q** 今後の取り組みについて教えてください。

**A** 当社グループでは、現中期経営計画(2020年度~2023年度)において、「提供価値の強化」、「価格競争力の強化」、「販売体制の強化」、「労働生産性の向上」、「海外事業の強化」の5つの重点施策に取り組んでいます。当期は中期経営計画の折り返しの3年目となり、最終年度目標の達成に向け、重点施策を着実に実行してまいります。

「提供価値の強化」では、2020年度に開所した「コーティング技術センター」と「防食技術センター」を活用した顧客への価値創出力の向上への取り組み推進に加えて、収益貢献を追求するフェーズに移行しています。「価格競争力の強化」においては、価格転嫁

を段階的に進めており、塗料配合の見直しや一括購買と併せて、製造原価の低減を推進してまいります。また、「海外事業の強化」では、強まる中国の環境規制に対応し、粉体塗料や水性塗料等の環境対応製品の拡販により、2022年1月より本格稼働している中国浙江省の新工場の早期黒字化を目指します。

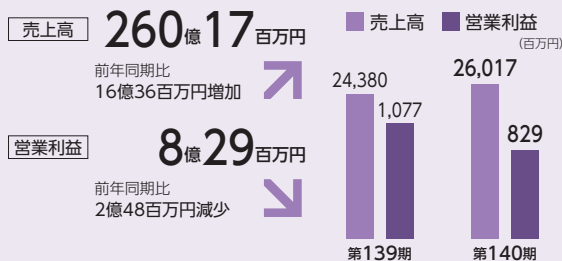
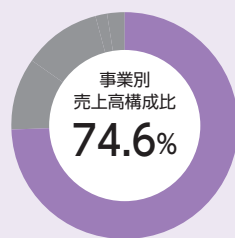
これらの重点施策を中心に取り組みを強化することにより、中期経営計画の目標達成と7年後の創立100周年やその先をも見据え、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月



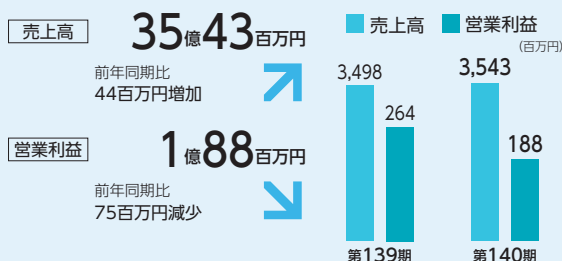
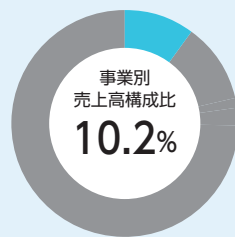
### 国内塗料事業



【事業概要】当社が高いシェアを誇る重防食塗料を中心に、建築物用塗料や建材用塗料、ジェットインクなどを製造・販売しています。

- 一般用分野では構造物用塗料が堅調に推移しましたが、工業用分野では建材用塗料やプラスチック用塗料の需要が減少し、販売は低調に推移しました。
- 当セグメントの売上高は価格転嫁の進展により前年同期を上回りましたが、利益面では原材料価格上昇の影響を補うまでには至らず、前年同期を下回りました。

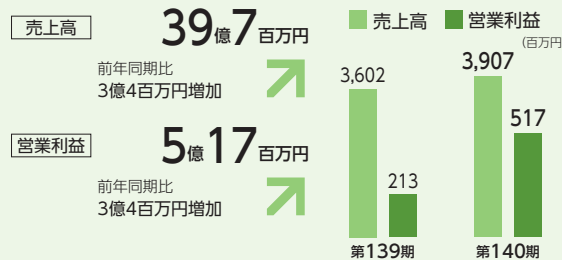
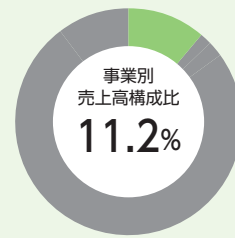
### 海外塗料事業



【事業概要】東南アジア、中国の他、メキシコに拠点をもち、自動車部品やプラスチック製品に塗装する工業用塗料を中心に製造・販売しています。

- 東南アジア及び北中米地域では主要顧客の生産減少を受け自動車部品用塗料の需要が減少しました。
- 中国では新規顧客の獲得により焼付用塗料の販売が伸びましたが、上海市のロックダウンの影響により自動車部品用塗料の需要が減少しました。
- 当セグメントの売上高は円安による為替換算の影響により前年同期を上回りましたが、利益面では原材料価格上昇の影響を受け、前年同期を下回りました。

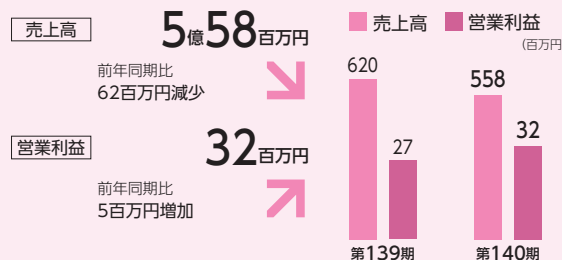
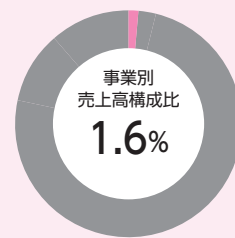
### 照明機器事業



【事業概要】建築化照明や店舗照明などの業務用照明機器を製造・販売しているほか、紫外線除菌装置なども展開しています。

- 業務用LED照明分野では商業施設向けや建築向けの需要が回復したことに加え、原材料価格上昇に対する価格転嫁の実施により、当セグメントの売上高は前年同期を上回りました。
- 利益面では売上増加のほか、経費削減に努めたことで前年同期を上回りました。

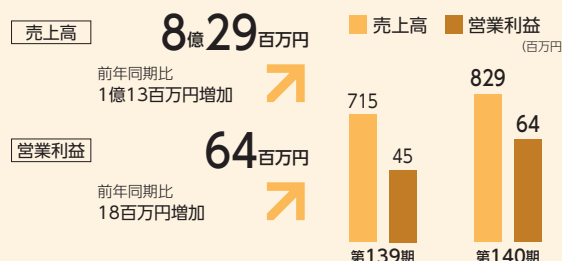
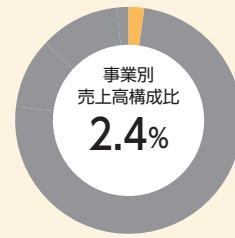
### 蛍光色材事業



【事業概要】蛍光塗料や反射塗料を製造・販売しており、近年では河川の水位表示など、防災対策用として需要が拡大しています。

- 加工品分野では各種イベント類の再開等を受け需要が回復基調にありますが、顔料分野では国内市場において主要顧客の需要が減少し、当セグメントの売上高は前年同期を下回りました。
- 利益面では原材料価格上昇に対する価格転嫁や経費削減により、前年同期を上回りました。

### その他事業(物流・塗装工事)



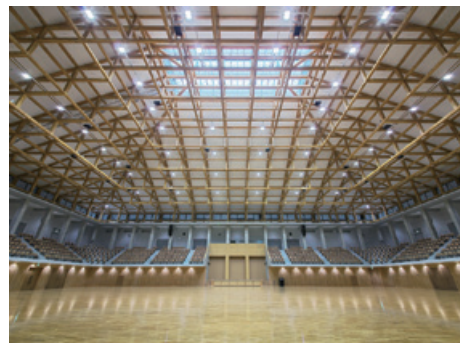
## Topics 1 栃木県総合運動公園の競技施設に

### 当社塗料が採用されました。

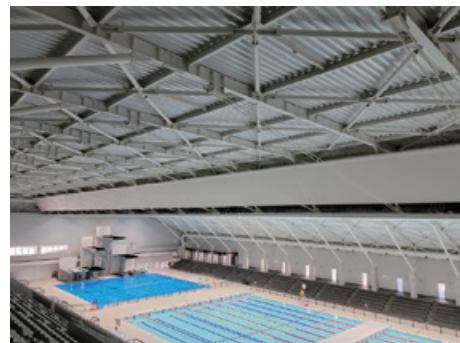
トピックス

1

2022年10月に開催された国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」と全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の会場となった栃木県総合運動公園の競技施設に、当社の構造物用塗料が採用されました。大会に向け整備されたアリーナや水泳場など大型施設の鉄骨部を中心に当社製品が幅広く塗装されており、施設をさびや腐食から守っています。



武道館



水泳場



メインアリーナ



サブアリーナ

【使用塗料】 武道館……木・鋼のハイブリッド構造であり、鉄骨部分に、「ゼッターOL-HB」「エポオール#65-W」が採用  
水泳場……高湿度環境から亜鉛めっき鉄骨を保護するため、「エポニックス#90下塗-R」「VトップH」が採用  
メインアリーナ、サブアリーナ……大空間を支える天井の鉄骨に「グリーンポーセイ速乾」が採用

## Topics 2 大阪の大型施設に

### DNライティング(株)の照明が採用されました。

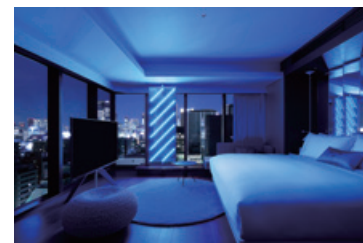
トピックス

2

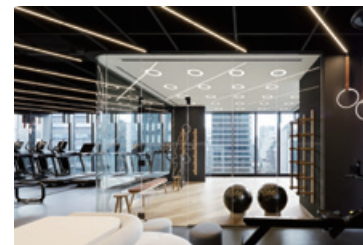
当社グループの照明機器事業を担っているDNライティング(株)(DNL)の照明が、有名施設をはじめ続々と採用されています。今回はその中から、大阪府内の採用実績をご紹介します。

今後も当社グループは塗料、照明をはじめ、さまざまな分野で物件の獲得に努めてまいります。

#### W大阪



ファンタスティックキングスイート



フィットネスジムFIT

マリオット・インターナショナルが展開するラグジュアリーホテル「W大阪」が2021年3月、心斎橋に開業しました。客室には鮮やかな色彩のライン照明が印象に残る大胆なデザインが用いられ、客室をはじめエントランス、フィットネスジムにDNLの照明が採用されています。

撮影：Nacása & Partners inc.

#### 心斎橋PARCO



13階 御堂筋ダイニング

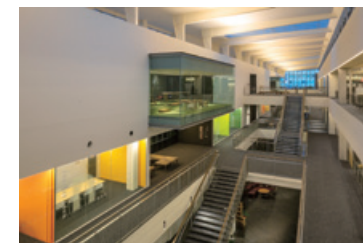


5階 ベビールーム入口

2020年11月にリニューアルオープンした「心斎橋PARCO」の飲食店フロア天井や、ベビールームなどにLED照明、間接照明が採用されています。なお、本施設の外装には当社の塗料も採用されています。

撮影：スタジオマップ 前田誠士

#### 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス



パサージュ



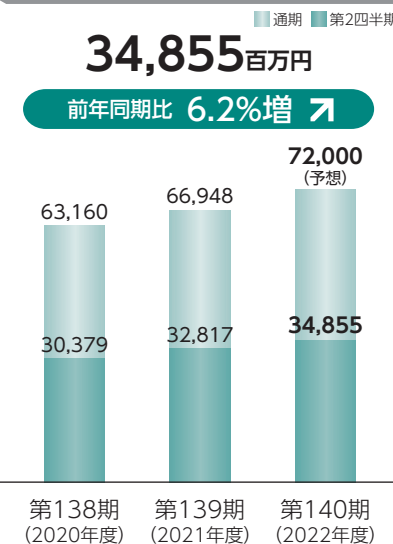
外観

大阪電気通信大学は寝屋川キャンパスに新棟である「OECUイノベーションスクエア」を建設し、2022年3月に竣工しました。本棟の特徴である、パサージュと呼ばれる吹き抜けの大通りのほか、外観、会議室など様々な箇所にDNLの建築化照明が採用されています。

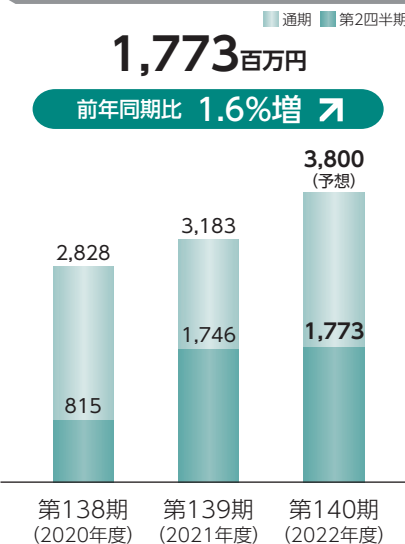
撮影：スタジオマップ 前田誠士



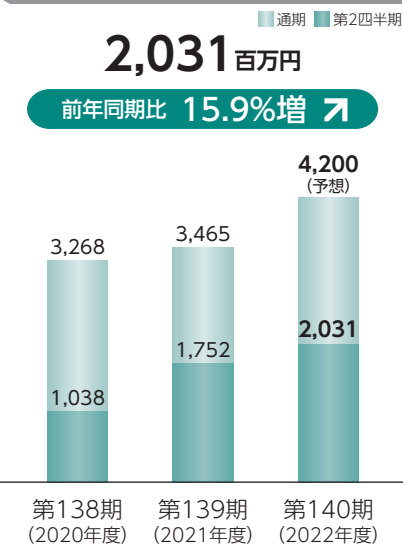
売上高 (百万円)



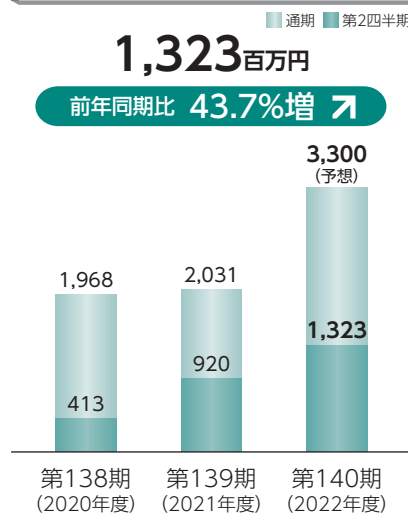
営業利益 (百万円)



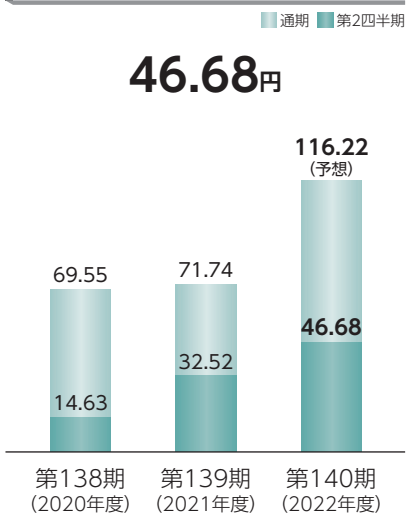
経常利益 (百万円)



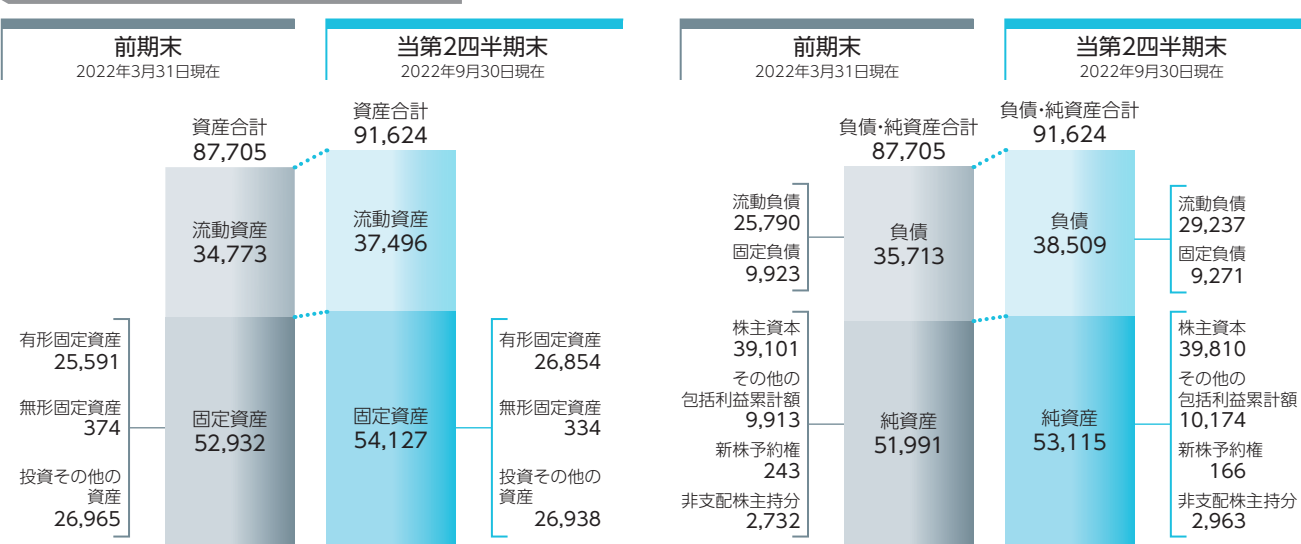
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



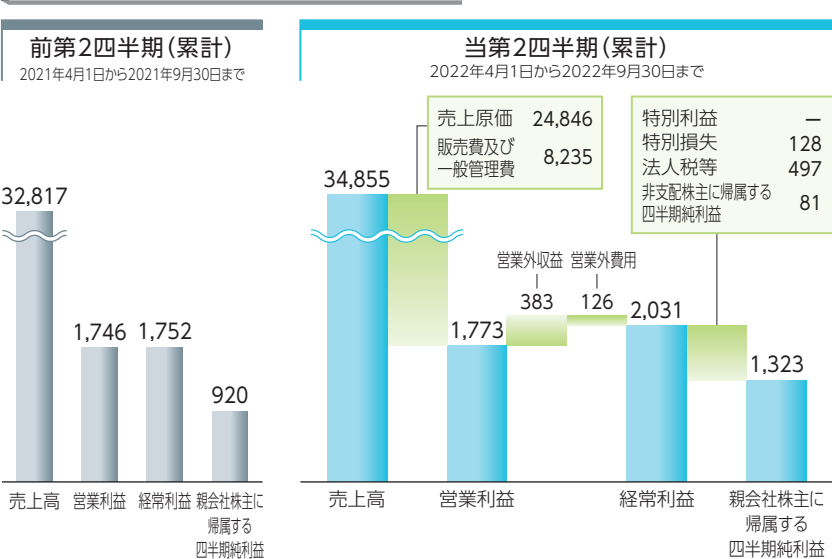
1株当たり四半期純利益 (円)



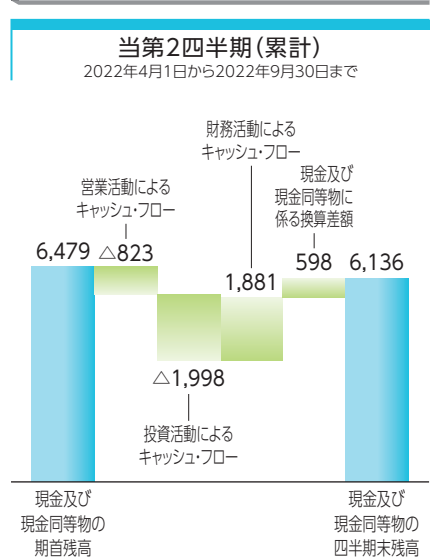
四半期連結貸借対照表(要旨) (百万円)



四半期連結損益計算書(要旨) (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



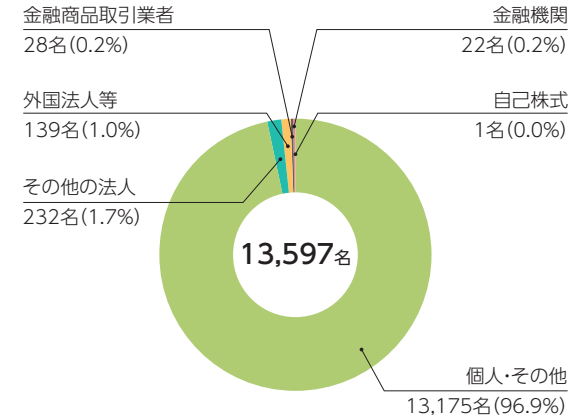
発行可能株式総数 ..... 93,280,000株  
 発行済株式の総数 ..... 29,710,678株  
 株主数 ..... 13,597名

●大株主(上位10名)

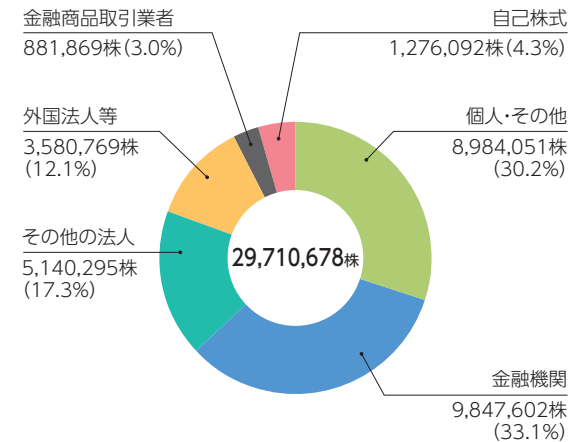
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,828	9.9
明治安田生命保険相互会社	1,400	4.9
DNT取引関係持株会	1,368	4.8
株式会社三菱UFJ銀行	1,228	4.3
ダイニッカ株式会社	1,215	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	1,013	3.5
富国生命保険相互会社	1,000	3.5
株式会社島津製作所	1,000	3.5
田邊康秀	829	2.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	677	2.3

(注1) 自己株式(1,276,092株)を除いて記載しております。  
 (注2) 持株比率は自己株式(1,276,092株)を控除して計算しております。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



●主な事業所／子会社及び関連会社

●大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)  
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)  
 東京、名古屋、大阪 他16営業所

●子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)  
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)  
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)  
 日東三和塗料(株)(滋賀)  
 サンデーペイント(株)(大阪)  
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)  
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)  
 (株)宇部塗料商会(山口)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)  
 秋田DNライティング(株)(秋田)

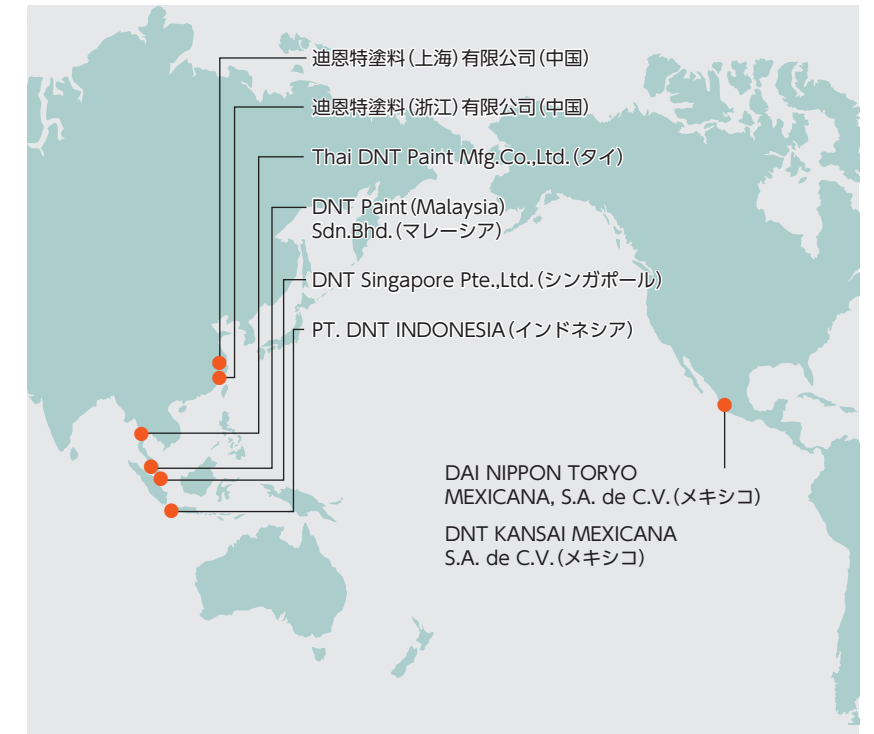
蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)  
 ニットサービス(株)(大阪)

海外塗料:



●会社概要

商号	大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited
本社	〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11
設立	1929年(昭和4年)7月25日
資本金	8,827百万円
従業員数	2,197名(単体:703名)
主要な事業内容	塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等

●役員

代表取締役社長	里 隆 幸	取締役(社外取締役)	林 紀美代
取締役常務執行役員	永 野 達 彦	取締役(社外取締役)	佐 藤 弘 志
取締役執行役員	野 田 秀 吉	取締役(社外取締役)	馬 場 浩 司
取締役役員	山 本 基 弘	常勤監査役(社外監査役)	杉 浦 秀 樹
取締役執行役員	中 谷 昌 幸	常勤監査役	木 村 直 之
		監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之